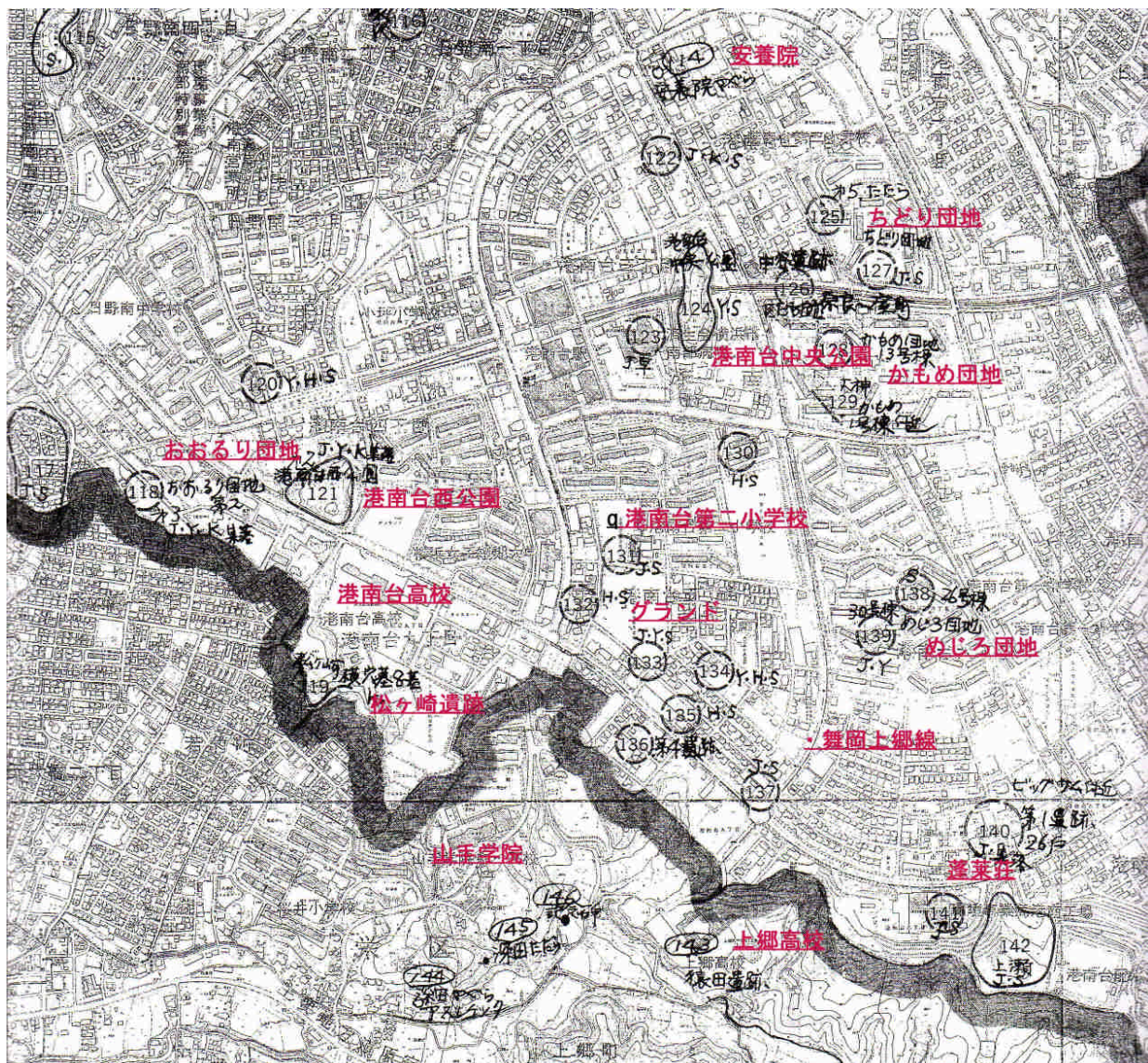


港南台地区の遺跡地

1. 港南台遺跡地 地図

港南台遺跡地は港南区港南台2～9丁目、日野南5～6丁目一帯をさします。港南台開発時に調査されましたが、遺構のほとんどが開発とともに消滅してしまいました。遺跡跡の分布は下図の通りで、次のような遺跡群がありました。

上瀬遺跡（港南台8丁目辺り）、榎戸遺跡（港南台6丁目辺り）、小坪遺跡、中谷遺跡（現在のちどり・かもめ団地辺り）、松ヶ崎遺跡、安養院やぐら、大神やぐら
発掘された遺物の一部が磯子区の三殿台考古館に保存展示されています。



上図で示した記号 K = 古墳時代、J = 縄文時代、Y = 弥生時代、H = 土師器・古墳時代
S = 遺物・遺跡の散布地 です。

2. 港南台遺跡の出土品（磯子区三殿台遺跡保存館に保存展示品）



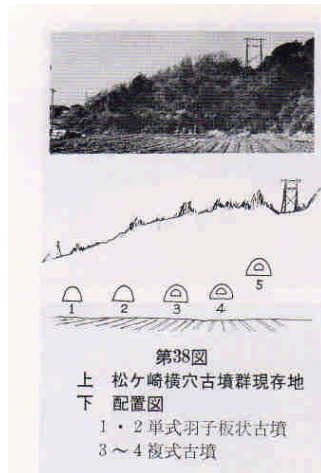
深鉢形土器 港南台 縄文時代中期



土錘 港南台 縄文時代



筒型土偶 榎戸第一遺跡 縄文時代後期



松ヶ崎古墳



左 三殿台考古館の弥生時代中期の竪穴住

以上